

学術会議シンポジウム

「低炭素化に向けた経済・社会・エネルギーのあり方と実現のシナリオ」

1. 日時 平成22年12月9日（木）午後1:30-5:00

2. 場所 学術会議講堂

3. 主催

土木工学・建築学委員会／低炭素建築・都市分科会、社会資本分科会

担当：低炭素建築・都市分科会委員長 村上周三（建築研究所 理事長）

社会資本分科会委員長 浅見泰司（東京大学 教授）

低炭素建築・都市分科会副委員長 吉野博（東北大学 教授）

4. 共催（予定） 日本建築学会、空気調和・衛生工学会、都市計画学会、その他

5. 企画趣旨

温室効果ガスの排出量を1990年基準で2020年までに25%削減するという前鳩山政権の公約を受けて、環境省では「地球温暖化対策に係る中長期ロードマップロードマップ」を、経済産業省では「エネルギー基本計画」を公表し、今後の温暖化対策、エネルギー利用の方針を示した。

低炭素建築・都市分科会、並びに社会資本分科会は、これまで中・長・超長期的な観点から都市・建築におけるエネルギー消費の大幅削減の方策を探ることを目標として、エネルギー消費に関連のある最新の資料に基づいて、日本全体のエネルギー消費量の将来を精度良く推定するとともに、エネルギー消費量削減のシナリオを提案するための作業を続けてきた。

そこで本シンポジウムでは、まず国の温暖化対策に関する動きを紹介していただいた後に、分科会における詳細な検討の結果、および削減に向けた様々な取り組みについて公表すると共に今後のとりまとめの作業に向けて、参加者からの意見を頂くこととした。

なお、この作業のとりまとめの一部は、環境省環境研究総合推進費 E-0803（低炭素社会に向けた住宅・非住宅建築におけるエネルギー削減のシナリオと政策提言）を受けて実施している。

6. プログラム（司会 村上周三、浅見泰司）

開会の挨拶 濱田政則（土木工学・建築学委員会・委員長、早稲田大学）

趣旨説明 村上周三（低炭素建築・都市分科会委員長、建築研究所）

第1部 低炭素社会の経済・エネルギー

（1） スマートコミュニティの経済学 松村敏弘（東京大学）

（2） 「エネルギー基本計画」と低炭素化
中上英俊（低炭素建築・都市分科会委員、住環境計画研究所）

（3） 低炭素社会に向けた都市環境の評価
浅見泰司（社会資本分科会委員長、東京大学）

第2部 低炭素社会実現のシナリオ

（4） 地球温暖化対策に係る中長期ロードマップ
藤野純一（国立環境研究所）

（5） 建築・都市におけるCO₂排出量の50年までの長期予測
伊香賀俊治（低炭素建築・都市分科会委員、慶応義塾大学）

（6） 建築・都市におけるエネルギー消費特性の実態
吉野 博（低炭素建築・都市分科会委員、東北大学）

まとめ 村上周三（既出）